※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0203

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ（通信）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新数学Ⅱ（東京書籍）						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次までで学習した内容を確認し，それを基に数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めます。授業プリントや問題プリントを整理し，各自復習等に用いましょう。授業プリントで学習した内容を問題プリントで確認し、知識の定着を図ります。通信ではレポートが非常に重要です。毎回しっかりと取り組みましょう。遅刻や欠課をせずに，しっかりと出席しましょう。

２　学習の到達目標

（１）　指数関数及び対数関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
（２）　事象を数学的に考察し表現する能力を培う。
（３）　数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを主体的に活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・指数関数・対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。 ・関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	指数関数	指数の拡張 累乗根 指数関数とそのグラフ	a:指数の性質や、関数のグラフの特徴を理解している。 b: 指数関数を用いて、具体的事象を考察することができる。指数の性質や、それらの関数のグラフを用いて、方程式・不等式の解などを求めることができる。 c:指数関数に関心を持ち、具体的事象の考察に進んで活用しようとする。	レポート、定期考査	レポート、定期考査	課題
後期	対数関数	対数 対数の性質 対数関数とそのグラフ 常用対数	a:対数の性質や、関数のグラフの特徴を理解している。 b: 対数関数を用いて、具体的事象を考察することができる。対数の性質や、それらの関数のグラフを用いて、方程式・不等式の解や自然数の桁数などを求めることができる。 c: 対数関数に関心を持ち、具体的事象の考察に進んで活用しようとする。	レポート、定期考査	レポート、定期考査	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度